

桜風 (NO8)

三島市立錦田中学校 2014.12.1

～冬季休業まで約一ヶ月です。

休み中の学習面、生活面の計画の実践を見守ってあげてください～

保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、大きな事故や問題もなく、生徒たちは全体的に落ち着いた学校生活を送ることができています。冬季休業まで約一ヶ月となりました。

学校では、毎年12月になると生徒たちに、冬季休業に向けた学習面や生活面についての生活設計を立てさせています。一人ひとりの生徒たちが立てた計画については、不足している点や修正点について学級担任を中心に個別に指導していきますが、休み中はお子さんが家庭で過ごす時間が多くなりますので、保護者の皆様の見届けが大切になります。

自分で決めた冬季休業中の生活設計については、確実に実践できるようにさせていきたいと考えていますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

今回は、子どもたちの健やかな成長のために、学校、家庭、地域のそれぞれの役割の中で、特にご家庭でお願いしたい点をあげましたのでご一読ください。



・ ・ ・ ・ ・ 家庭教育として保護者の皆様をお願いしたいこと ・ ・ ・ ・ ・

1 大人みずから子どもの範に ・ ・ ・ ・

「親孝行は教えるものではなく、子ども自身が大人をみて、自然のうちに大切にしたいと考えるようになるのがほんとうである。そのためには、大人は子どもから尊敬されるようではなければならないが、現代の大人の中にはそのように感じられない時がある」といった話を聞いたことがあります。これについては、いろいろ異論もあるかと思いますが、1つの問題点を突いていることは確かです。

生徒たちの大人に対する希望の中でよく聞こえてくる声として、「子どもにああしてはいけない、こうしてはいけないといっておきながら、自分はしている、自分勝手だ」という内容です。

「教育（特に家庭教育）は、ことばではなく感化である」ということを私たち教師も含めた大人が自分の背中（行動）で範を示す必要があると感じています。



2 しつけは家庭教育の重要な役割 ・ ・ ・ ・

かつてはどこの家にも家風というものがあり、そのことが家庭でのしつけの柱となっていました。現在は、どこの家庭でもこのようなよりどころが少なくなり、しつけが十分なされているとはいえません。小さい時から過保護の環境で育った子どもは、中学生になって自我意識が発達すると、極端に大人の干渉をきらうようになるといわれます。

そのことで、大人は神経質になり、何一つ我が子のために言うことができず、どうしたらよいかという相談を受けるときがあります。

多くの子どもたちは、自分がよりよい人間になるために、家庭でしっかりしつけられること望んでいるはずですが、小さいことをあれこれいうのではなく、これだけという大切なことを自信をもってしつけるようにすると良いでしょう。

3 お家の方がそろって話し合う機会を ・ ・ ・ ・

一人一人の子どもたちは、お家の方に理解してもらうことを何よりも望んでいます。「考えを一方的に押しつけずに、自分の考えを一応は聞いてほしい」とも思っています。忙しい毎日ではありますが、お家の方が揃って夕食をとった後にでも、学校のこと、友達のこと、進路のこと、今、悩んでいることなど話し合う機会をもってほしいと思います。これこそ、またとない家庭教育の機会であると考えています。

今後も学校と家庭の両面から、子どもたちの成長を温かく見守っていきたくて強く願っています。

○PTAバザーへのご協力ありがとうございました。大成功です。

11月1日（土）の午後から錦田中学校 PTA 恒例行事のバザーが行われました。

PTA 厚生部、本部役員、サポーターズクラブの方々は午前中から品物の陳列や値付けなどの作業でたいへんご苦勞をおかけしました。

おかげさまで、今年も多くの来校者があり、体育館の中は熱気に満ちあふれていました。厚生部を中心にした各専門部、本部役員、サポーターズクラブの皆様が子どもたちのために一生懸命販売をしてくださいました。

毎年、この行事を楽しみにしている方が、帰り際に「今年もバザーに来てほんとうによかった。楽しませてもらいましたよ」と話しかけてくださいました。本校ではこのような機会を地域の方と交流を深める大切な場として考えております。

いろいろご負担をおかけしますが、このような行事が来年も続いていくことを願っております。

皆様のご協力に心から感謝申し上げます。



○授業公開・高校説明会・アドバイザー会議へのご参加ありがとうございました。

10月31日（金）の授業公開・高校説明会、アドバイザー会議に多くの保護者や地域の様々な立場の方々がお見えになりました。

当日は、各学年の授業の様子をご覧いただいたり、高校の先生方の説明を聞いたり、アドバイザー会議で学校へのご意見を伺ったりとたいへん有意義な一日になりました。

「学校を開く」といわれ、その取組には様々な方法があると思いますが、本校では、このような時間を学校、保護者、地域が一体となった特色ある学校づくりの一環として捉えております。

今後も学校の様子をご覧いただく企画を考えていきますので、お時間がありましたら遠慮なく学校にお越しください。



○2年生 職場体験が無事に終わりました。

11月5日（水）～7日（金）までの3日間、2年生が職場体験を行いました。この活動については、事前に錦田中学校支援地域本部の方々が全面的に協力してくださり、生徒たちの体験先を紹介していただきました。

コンビニ、介護施設、保育園、学校、農家など体験先は様々でしたが、受け入れ先の皆様のご理解とご協力をいただき、生徒たちにとってたいへん貴重な経験をさせていただきました。

3日間の体験だけでは、働くことの厳しさ、たいへんさ、苦勞などすべてを理解することは難しいとは思いますが、体験先で職場の方々が真剣に仕事に打ち込む姿や働くことに生きがいをもちながら取り組む姿を拝見させていただいたことが何よりの財産になったのではないかと思います。

この職場体験を今後の生徒たちのキャリア教育や進路選択の際に生かしていきたいと思っております。

お忙しい中、生徒たちのために時間を作ってください、ほんとうにありがとうございました。



○学校花壇の植え替えご協力ありがとうございました。

11月18日（火）の放課後、錦田中学校支援地域本部、サポーターズクラブ、PTA、地域のボランティアの皆様と生徒が協力して学校花壇の植え替えを行いました。

事前に関係の皆様にご声をかけさせていただいたところ、「子どもたちのために」ということで、多くの方々に参加してくれました。

当日は、1、2年生のボランティア生徒82名といっしょに、来春に向け、ビオラ、ノースポール、チューリップの苗や球根を植えました。

前回の花壇コンクールでは「奨励賞」をいただきましたが、来年の春にはさらにすばらしい花壇ができると思っております。

生徒が安心して学習活動に取り組めるような教育環境の整備をこれからも行っていきますので、保護者、地域の皆様のご協力をお願いします。ありがとうございました。

